

津市立南が丘小学校だより

かがやく未来

2025. 3. 24 NO.51

令和6年度卒業証書授与式を行いました



3月19日。令和6年度卒業証書授与式を行い、6年生126名が南が丘小学校を巣立っていきました。私にとって南が丘小学校に赴任して最初の卒業生です。今年1年だけでしたが授業中や休み時間に話したこと、表情などたくさんの思い出がよみがえってきます。随分昔に勤務した学校で私と一緒に6年生の担任をした友人は、式が始まって6年生が入場した瞬間に隣

で号泣をして私は大変驚いたことを覚えています。私はそれ程ではありませんが、卒業証書授与や祝辞の際に感極まってしまわないかと随分心配をしていました。

証書を渡すとき、一人一人の目を見ながら「卒業おめでとう」という言葉に続け、「よく頑張ったね」「ますます勉強を頑張ってね」「部活、頑張ってね」「親孝行をするんだよ」などとマイクで拾わない程度の声で励ましの言葉を送りました。きっと保護者の皆様はお子様の卒業式に臨んでいる立派な姿を見られると感激もひとしおだったのではないのでしょうか。人は喜怒哀楽に伴って涙をしますが、ある作家の人は「なみだは人間の作る一番小さな海」「なみだは人間がもっている一番透明な宝石」と表現しています。たった1滴の涙、一筋の涙であってもその涙を流した人の果てしなく大きくて深い思いが詰まっていることでしょう。保護者の皆様にとっては12年分の様々な思いがそれに当たるのではないのでしょうか。子育ては決していいことばかりではないかもしれませんがこれまで一生懸命見守っていただいて今があるのだと思います。

6年生児童も在校生児童も卒業式というセレモニーを通して、心の中で多くのことを感じ、考え、中学校や次の学年に向けての決意をすることでしょう。ですから、作家は涙を海であり、宝石だと表現したのでしょう。卒業した6年生にはこの海や宝石を大切にしながらこれからも誰と比べることなく、未来に向かって自分らしく、明るく朗らかに、そして堂々と胸を張って歩いて行ってほしいと願っています。子どもたちが今、学校生活が楽しいと思ってくれることはもちろんですが、5年後、10年後…「あの時、あの先生が、あの時あの子がいたから頑張れた」と思ってもらえるような学校や学級でありたいと思います。

